

新2年生ガイダンス

三重大学人文学部文化学科

2020.3.

1年次の履修と地域の選択

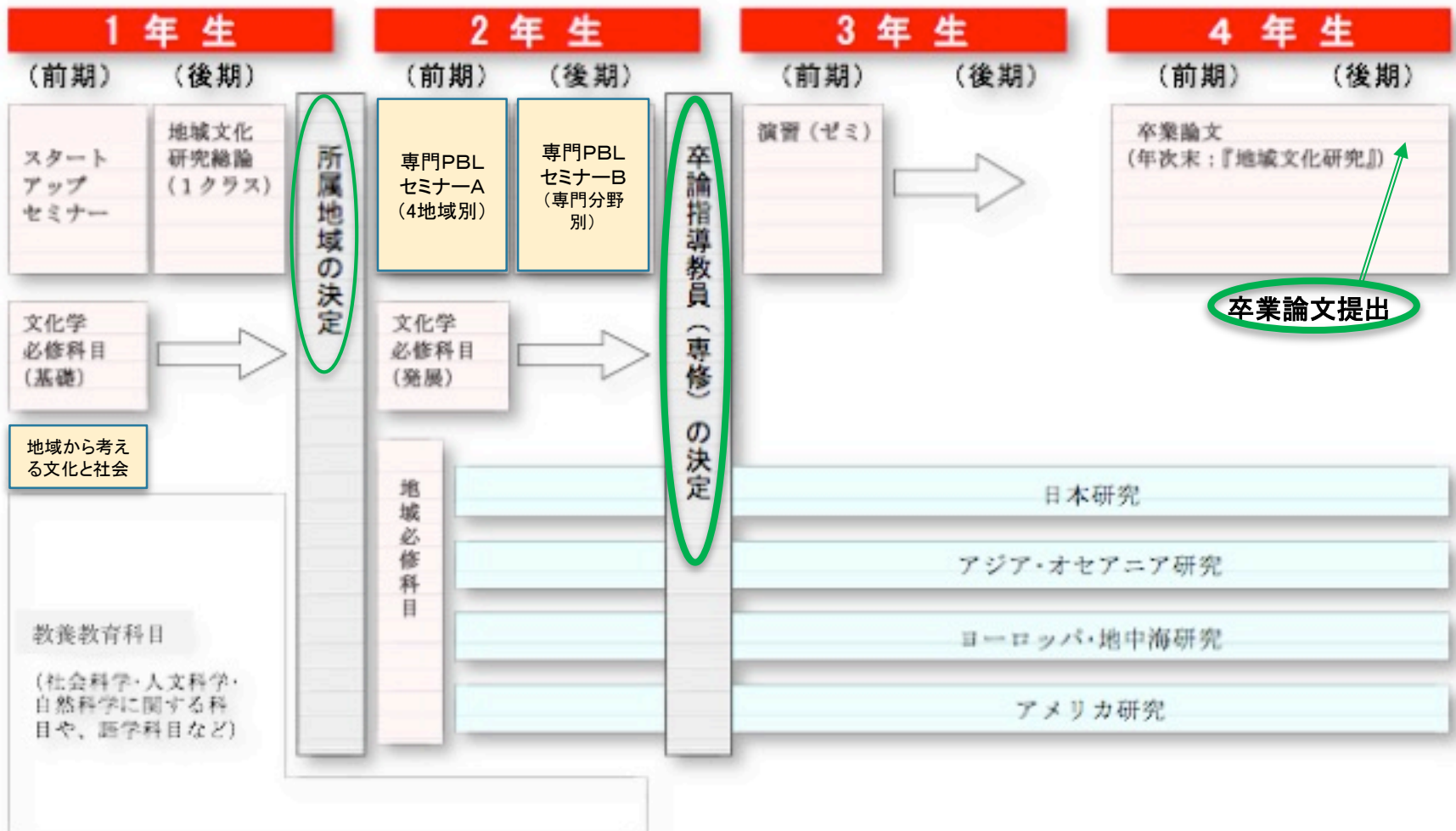
- 1年次では教養教育科目とともに、専門教育科目の「地域文化研究総論」、「文化学必修科目(基礎)」(前期1科目、後期1科目まで)を履修しました。
- 1年次の終わりには、2年次以降所属する地域を選択しました。
- 2年次以降は、所属する地域により、また研究したい学問分野により、履修内容が少しずつ異なります。

2年次からのカリキュラムの柱

- ①「専門PBLセミナーA(旧: 地域文化研究)」と「地域必修科目」
- ②「専門PBLセミナーB(旧: 文化学セミナー)」と「文化学必修科目」(基礎・発展)

文化学科の教育カリキュラム

専門分野の決定



「専門PBLセミナーA(旧:地域文化研究)」前期 必修

- 2年次前期に、所属する地域ごとに開講される必修科目「専門PBLセミナーA」を履修します
- 具体的には、「日本地域学セミナー」、「アジア・オセアニア地域学セミナー」、「ヨーロッパ・地中海地域学セミナー」、「アメリカ地域学セミナー」のどれかを履修します

「地域必修科目」の注意

- 所属する地域によって、科目が異なります
- 「履修要項」21-22ページに書いてあります
- **必修16単位**は、同じ科目名の枝番付き(A~Nなど)を**2科目セット**で認定します
(**セット履修**)

1科目のみ履修した場合の単位、または、3科目以上履修した場合の**余り単位**は、「**自由選択科目**」として数えられます

アジア・オセアニア研究

授業科目	単位	必修単位数	履修年次
アジア・オセアニア文化研究	2	2	2前

地域必修科目

授業科目	単位	必修単位数	履修年次
アジア・オセアニアの思想A~N	各2	2科目4	2・3・4
アジア・オセアニアの歴史A~F	各2	2科目4	2・3・4
アジア・オセアニアの言語A~B	各2	2科目4	2・3・4
中国の言語A~D	各2	2科目4	2・3・4
アジア・オセアニアの文学A~B	各2	2科目4	2・3・4
中国の文学A~F	各2	2科目4	2・3・4
アジア・オセアニアの社会A~F	各2	2科目4	2・3・4
アジア・オセアニアの風土と地誌A~	各2	2科目4	2・3・4
アジア・オセアニアの民族と文化A~	各2	2科目4	2・3・4
中国語会話A~F	各1	2科目2	2・3・4
中国語作文A~F	各1	2科目2	2・3・4
		計16	

**2科目セットで履修しないと
地域必修科目の単位として認定され
ない**



4単位または2単位のセットで履修

「専門PBLセミナーB(旧:文化学セミナー)」後期必修

- 2年次後期には、「専門PBLセミナーB」10科目から、関心のある専門分野を選び、少なくとも1科目履修します（月曜9・10と火曜1・2に開講）
- これと並行して「文化学必修科目(基礎)」 「文化学必修科目(発展)」を履修します

「専門PBLセミナーB」と「文化学必修科目」

- 「専門PBLセミナーB」にはそれぞれガイドラインがあり、
- どのような「文化学必修科目」を履修するかは、「専門PBLセミナーB」のガイドラインを考慮に入れながら選びます
- 「専門PBLセミナーB」と「文化学必修科目」は相互に関連しています
- 新入生ガイダンス資料「文化学必修科目・専門PBLセミナーBの履修にあたって」を読んでください([詳しい情報は人文学部ホームページ「在学生の方へ」→「授業関連」→「卒業単位確認チェックシート」にあります](#))

文化学必修科目（基礎）

- 言語科学概論A～D
- 文学概論A～L
- 哲学概論A～B
- 倫理学概論A～D
- 歴史学概論A～F
- 考古学・文化財学概論A～B
- 社会学概論A～B
- 文化人類学概論A～B
- 地理学概論
- 環境学概論

各2単位、1年次～4年次に**8単位必修**、
枝番を含む科目は**4単位まで**「文化学必修科目」として認定されます

たとえば「言語科学論A-D」「歴史学概論A-F」のような場合

8単位を超えて修得した単位は、自由選択科目に数えられます

文化学必修科目（発展）

- 言語科学論 A～B
- 英米文学論
- ドイツ文学論 A～B
- 生命倫理論 A～B
- 美術史 A～D
- 美術理論 A～B
- 学術情報論 A～B
- 地域環境論 A～B
- 文化環境論 A～D
- 自然環境論 A～B
- 比較思想
- 比較社会論
- 比較文化論

各2単位、2年次～4年次に**4単位必修**、
枝番を含む科目で「文化学必修科目」として認定されるのは**2単位まで**です

それらを超えて修得した単位は、自由選択科目に数えられます

文化学必修科目を履修するにあたっての注意事項

文化学必修科目(基礎)計8単位

科目に枝番がある場合には

(例えば、「言語科学概論 A-D」、「歴史学概論 A—F」のような場合)、4 単位まで(例えば、A と B 合わせて 4 単位まで)を文化学必修科目として認める(それを超える場合は、自由選択科目の単位として扱う)。

例

	科目名	修得単位	
①	言語科学概論 A	2	} 2科目 4単位まで
②	言語科学概論 B	2	
③	言語科学概論 C	2	} 自由選択へ
①	歴史学概論 A	2	

文化学必修科目(発展)計4単位

科目に枝番がある場合には

(例えば、「言語科学論A-B」、「生命倫理論 A-B」のような場合、)2 単位までを文化学必修科目として認める(それを超える場合は、自由選択科目の単位として扱う)。

例

	科目名	修得単位	
①	言語科学論 A	2	} 2単位まで
②	言語科学論 B	2	



この他にも履修上の注意点はいくつかあります。入学時に配布した「履修要項」および「文化学必修科目・専門PBLセミナー(文化学セミナー)の履修にあたって」をご確認ください。なお、「文化学必修科目・専門PBLセミナー(文化学セミナー)の履修にあたって」は人文学部ホームページの「在学生の方へ」にも記載されております。

演習の履修と卒業研究

- 2年次の終わりに指導教員を決定し、その指導の下で卒論研究をすすめます
- 演習は、各自の指導教員と専門分野によって選択しますが、ほかの演習も自由に履修できます

履修上の注意

- 入学時の2019年度入学生用「履修要項」に従う
- 2年次から所属する地域ごとに、地域必修科目が異なる
- 人文学部のホームページ上にある、「卒業単位確認チェックシート」で、卒業に必要な単位と取得単位の過不足を確認すること

必ず、自分の**入学年次**と**所属地域**の
カリキュラムに沿って履修計画を！

単位修得のルール

- 単位、成績、卒業研究の規定
 - 〈9. 修学の手引き〉をよく読むこと
 - 履修要項 29-34ページ
- 定期試験
 - 不正行為の禁止
 - 履修要項 38-39ページ
- 卒業論文
 - 捏造、改ざん、盗用は不正行為になる
- 卒業要件としてのインターンシップ
 - 入学時のガイダンスで行った説明を確認すること。掲示等でも指示する。(履修要項 35-36ページ参照)

以上です

不明な点があれば、学務や教務担当の先生に問い合わせてください。

文化学科教務委員